

牛久：学校周辺に見る自然

第3号 牛久自然観察の森

2020年4月3日発行

＜ 春の訪れ ^{おとず} ～③その他の樹木 ＞

皆さん、こんにちは。今回は3月26日、牛久自然観察の森で見られた ^{さくら}桜以外の樹木の ^{じゅもく}紹介です。 ^{しょうがい}



まだ咲き残っていたコブシ(上)と、そのアップ(左下)。



^{さくら}桜と入れかわるように花が終わってきたコブシですが、まだ多く咲き残っている木もありました。左の写真が花ですが、中心の太い緑色の軸にたくさんついている小さいのが雌しべで、そのまわりにたくさん並んだクリーム色の細長いのが雄しべです。花のすぐ下に、小さな



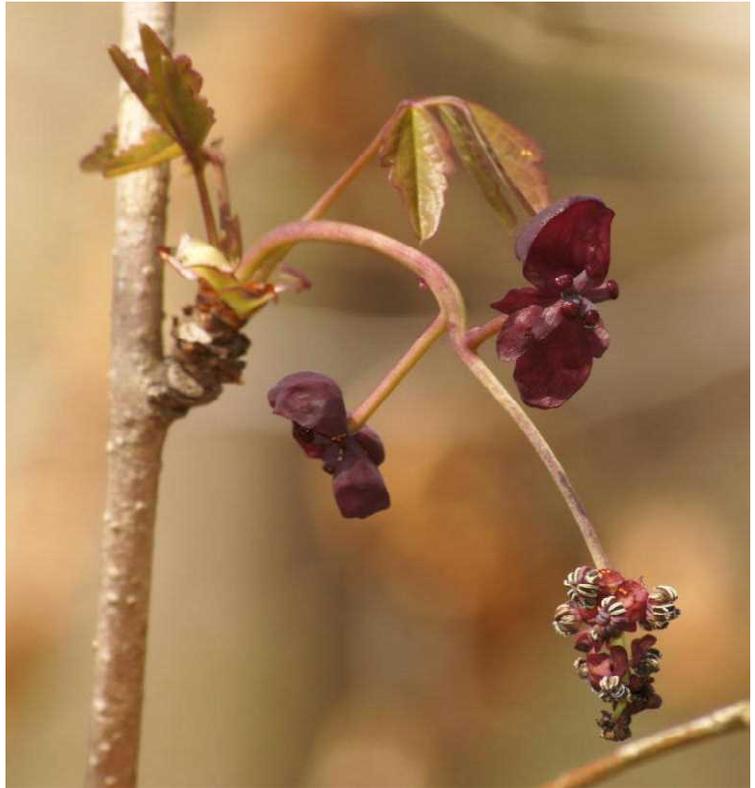
^は葉があるのが特徴。秋に ^{とくちょう}面白い形の実ができた

ら、またお知らせします。

次に、こちらもほぼ ^{かい}開花は終わっていたヒサカキです。オスの木とメスの木があって、 ^め雌花はもうふくらみ始めていました。

まだ咲き残っていたヒサカキの雌花(左)と雄花(右)。





咲き始めたアオキの雄花(上)と、まだ咲いていたヒュウガミズキ(左下)。
 咲き始めたミツバアケビ(右下：たれ下がった先に集まるのが雄花、そのつけ根から2つ開いているのが雌花)。

こちら、オスの木とメスの木があるアオキ。まだ咲き始めで、写真はオスの木、つまりついている花は雄花で、雌しべは退化しています。ミツバアケビも咲き始め。開き始めた葉の間からひゅっと伸びた先に集まっているのが雄花、そのつけ根の方に2つ開いているのが雌花です。これも秋に実ができたからお知らせしたいと思います。観察舎近くのヒュウガミズキも咲いていました。ソメイヨシノと同様、葉が開く前に花が咲きます。

【理科支援員：宮内】